



NPO 法人ナルク茨木・摂津拠点 ナルク(NALC) 2020年7月 号付録

ナルク茨木・摂津 「おしどりの会」

567-0885 茨木市東中条町 1-6 あいおいニッセイ同和損保 介護研修センター-3F

Tel 072-620-6088 FAX 072-620-8707 Mail: oshidori-nalc@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://oshidori-ibaraki.com/>

242号
25周年記念号



明日につなぐ



2005年ナルク10周年の時、初代代表の山田さんのお誘いで入会しました。

そもそもボランティアをするという殊勝な気持ちより、自分が使った時間を貯められるという方法に欲張りな下心が働いたように思います。もう一つは入会申込書の裏にある資格・特技・趣味の一覧でした。退職しやりたいことがあれこれある自分にうってつけ、何でも教えてもらえると夢が膨らみました。そんな時先輩会員から「仕事を終えてからの人生楽しいことばかりではいけない、ある程度のプレッシャーは必要なのだ」と教えられたことを思い出しました。あれから15年、支援や研修を通して多くの事を学びました。

今年設立25周年を迎えました。ここに至るまで多くの先輩会員のご苦勞と努力、多くの協力があつたことに感謝いたします。節目を迎えたこの2020年に始まったコロナ禍の困難な出来事は世界中の誰もが忘れられない事になるでしょう。そしてまた世界中の人々が周りの人を思いやるさまざまな優しさに溢れる行動にも感動し多くの事を学んだと思います。

コロナ禍の中もう一つ忘れられない事は、外出も支援も自粛の4月、一番必要とされているマスクの制作と絵手紙を描いて利用者さんへ届けようと、25周年記念行事実行委員長の呼びかけがあり、会員の皆さんの素早い対応で、わずか数日間で100枚を超える個性的でかわいいマスクと、元気が出るひとことが添えられた絵手紙が事務所に集まりました。

本当にこれこそがナルクの団結力であり、行動力であり「感動のナルク」であると思います。マスクと絵手紙は優しさと思いやりや励ましとなって利用者さんに届けられました。

記念行事中止を余儀なくされており、先が見えない状況でもこの会員の熱意と皆様の協力で30周年に向かってスタートをして行きたいと思ひます。

ナルク茨木・摂津拠点が相談役の山田さんを中心に設立されて以降25年の輝かしい歴史を積み重ねられ、新たな30周年に向けてスタートを切られたことに対して心からお喜び申し上げ、これまで素晴らしい拠点を創って来られた歴代の役員の方々の皆さま、会員の皆様方に心より感謝申し上げますとともに敬意を表します。

貴拠点は、平成7年7月16日「少子高齢化で介護・介護などの負担の増加を解消するためには行政のサービスと民間のサービスが力をあわせる」という宣言を發表し設立されました。この宣言をベースにナルクの理念を忠実に実行され、現在400名を超え、時間預託活動・奉仕活動とも全国のトップレベルの拠点に成長されました。また、全国の拠点の範となる活動は枚挙にいとまがありません。

- ① 活動を支える体制として、トータルディネーター・地区コーディネーターを配置し活動を展開。
- ② 茨木市からの委託事業を積極的に推進（ごいっしょサービス（認知症高齢者の支援）・ひとり暮らしの高齢者など日常生活支援・訪問型サービスB）。
- ③ 近隣の府立高校への出前授業の実施（講話と車いす体験実習など）。
- ④ クリーン作戦として市内街路の美化、清掃活動の実施（市内高校・大学・少林寺拳法連盟などと共催）春・秋2回約500人が参加。
- ⑤ 介護サポーター研修を継続的に実施。全国の拠点が活用している「シニア生活・介護支援サポーターテキスト」は茨木・摂津拠点の全面的な協力で作成。

今後、地域全体で高齢者を支援することが重要です。助け合い活動、奉仕活動を通しての地域貢献活動の積極的展開を期待しています。

30周年に向けて「楽しいナルク茨木・摂津」「安心のナルク茨木・摂津」「感動のナルク茨木・摂津」の実現と「愛ある、お互い思いやるナルク茨木・摂津」を目指して共にがんばりましょう。



茨木市少林寺拳法連盟 会長
（株）利宝・魚庵すし若 代表取締役
若林三雄（賛助会員）



NALC茨木・摂津拠点創立25周年心よりお喜び申し上げます。

去る2月、NALC創設者高畑敬一名誉会長のご逝去に接し、数々の思い出がよみがえりお悔やみの言葉を述べさせて頂きます。「万法は、縁により生じる」と申しますが、26年前に初めて「文武両道」と云われる凄腕の高畑先生にお会い出来ました。松下労組での長年のリーダーとしての存在、会社理念「製品を作る前に人を造る」という考え方から「人を大切にするという心得」。何回か話をお聞きする間に人格に惚れました。私欲にとらわれず人の為、世の為にボランティア活動に没頭されている後ろ姿に敬服し、私が何かお手伝いできればと思っていた矢先、ちょうどNALC茨木・摂津拠点が、事務所確保に苦慮されていることを知り、事務所を5年間無償提供させて頂きました。又、私の知人の川島氏等と大阪上方歌舞伎復興の立役者として活躍されましたが、その歌舞伎発祥の地である四国琴平本堂にて、ご一緒に観劇させて頂いたことが思い出されます。ここに心からご冥福をお祈りいたします。

さて、NALCの皆さんには2001年以降クリーン作戦にご協力を頂き感謝しております。このゴミ拾い清掃は、高校生・大学生・病院職員・会社OB会・ボランティア団体、そして茨木市少林寺拳法連盟の各団体が集結する社会貢献活動として、周囲から注目が高くなっております。「茨木市民憲章」の一節にもある「環境をととのえて、美しいまちをつくりましょう」を实践する意味でも、どうぞこれからもクリーン作戦にご協力頂き、茨木市の環境美化推進を図って行きましょう。

それから、ボランティア活動に於いては「NALC茨木・摂津拠点」の声があちこちから聞こえてきます。良き継続実践は口コミから広がります。更なる献身的な活動を積極的に推進され、ボランティアを提供された人々から「NALCと関わって良かった！」と喜ばれるよう、又その喜びをご自身の喜びとして生きがいを持って活動されることで、創設者の理念にも近づくものと思います。NALC茨木・摂津拠点が益々発展されることを期待します。



きじ園
田北英紀氏（賛助会員）



賛助会員になっていただいて約3年。

その間には多くの会員・賛助会員をナルクに紹介していただいている。入会のきっかけは、将来について悩みを抱えていた時期に京都ナルクに在籍されていた友人に勧められ、ナルクの理念に賛同したことである。彼は茨木市の北部、山あいの上音羽で「きじ園」を主に多角経営されているビジネスマン。

上音羽付近は高齢化と過疎化の進む地域であり、村の将来を考えた時、街のボランティア団体であるナルクとのコラボが実現すれば双方にとって有意義なことで、さらに地元の自治会にナルクを周知してもらい見山地区全体にまで活動の輪を広げ、この地域に人が集まってほしいと思っている。

また彼は土楽会の主メンバーであり、土楽会は会員・賛助会員を増やすための役割を担うと考えている。彼の賛助会員像とは、ナルクの財政基盤を支え本来のボランティア活動が充分にできる手助けをすることである。ボランティア組織は、しっかりとした財政基盤の上でこそ継続した活動ができ、そのためには広大な土地の資源を活かし、村の活性化とナルクの人材と経験を活かせる方法がないかと絶えず考えている。例えば地下水をくみ上げ「音羽の清水」として利用してもらう。

また祖父母と孫と一緒に遊べる場を提供できれば、小さいころから遊びを通して地域の良さを学び、ひいては次世代の自然に対する感性とボランティア活動の意義を早くから養うことになる。息の長い子育て支援であり、また将来の活動会員育てともなる。

その運営にナルクが関われば、組織の存続に繋がっていくことになる。過疎地に必要なのは「場」を提供し人が集まってくれることであり、人が集まれば地域が活性化し何某かの産業につながっていくのではないかと。人は楽しい場に集まるので、その運営をナルクで出来たらと構想は広がっていく。彼は楽しいことを考え実行に移すことが、これからの生きがいと感じている。ナルクの理念に賛同した想いを形として実現したいと熱心に語る姿に、新しい形のナルクに希望が持てるように思った。（記 石田あけみ）



ナルク創立25周年おめでとうございます。
本年は1月半ばより全世界を襲う新型コロナウイルスによる未曾有のパンデミックの為に大勢の感染者・死者が出ているばかりでなく、経済的並びに種々の理由により、今日明日を一日一日生きることが大変な人々が世界中に、そして日本中にも驚くほど多くいらっしゃいます。不要不急の外出自粛を要請されている現在、奉仕活動も自分を含め感染拡大の予防など厳しい局面に立たされていると思います。

小生がナルクを知ったのは確か15年か20年ほど前に、茨木・摂津拠点の初代代表の山田稔さんより「ナルクをやっています」と聞いたのが初めてでアメリカのWACの日本版との認識でした。ナルクは「自分の健康と生きがいを得るためにボランティアをさせて頂く」という思いと「自立活動・奉仕活動・助け合い活動で生きがい」をモットーに活動されてきた事にとっても感銘を受けております。年に何度も押し寄せる災害や災害時でなくとも、ボランティアの助けを借りなければ毎日の生活を送ることのできない障がい者や高齢者の方々がとても多い昨今、介護保険を使わない裏方のナルクの活動が本当に多くの皆さんに感謝されています。

近畿地区の活動拠点が関東地区よりかなり多い事にも驚きです。これまでの25年間のご活動に心から感謝を申し上げます、今後の会員の皆さまの更なるご活躍をお願いし簡単措辞ながらお祝いの言葉といたします。



ナルク茨木・摂津拠点設立25周年誠におめでとうございます。茨木・摂津拠点では私は最年少会員と思います。25年前、ナルク寝屋川拠点発足式の準備に父に言われて会場設営や脚立に乗って看板取付をお手伝いさせて頂きました。その会場には故高畑前会長がおられ陣頭指揮を執っておられました。まだ私は独身でしたので25年後に自分がナルクに入会するとは思いませんでしたが、高畑会長からその日初めて会ったのにお見合いを勧められたことを鮮明に覚えています。さらに遡ること10年、昭和60年の秋、就職し最初の赴任地が博多、隣の課の課長でよく中洲にも飲み連れて行ってもらったのが神野現会長でした。それから35年後私が早期退職し視覚障害者の遠隔援護サービスを模索しているときにナルクの会長が神野さんであることを知り早速本部を訪問しました。まずは組織体制がしっかりしている茨木・摂津拠点からと石田さんを紹介してくださり現在に至っています。

視覚障害者の遠隔援護は奉仕ポイントのみの活動にも関わらずサポーターとしてご支援頂いている皆さまには深く感謝申し上げます。

コロナ感染予防のために視覚障害者はこれまで以上に不自由な生活を強いられています。皆さまの温かい声のコミュニケーションが視覚障害者の気持ちを明るくします。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

NPO法人 ナルク

ナルクの活動とは？

<p>高齢者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者家事支援 ・ごいっしょサービス ・ひとり暮らし日障生活支援 ・訪問リハビリB 	<p>子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園送迎 ・産前産後支援 ・障がい児支援 ・高校授業協力
<p>社会奉仕活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 ・当会、社協活動 ・病院、施設活動 ・堂下炊見寺り 	<p>同好会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッチワーク・歌おう会 ・絵筆紙・コース ・お茶を楽しむ会 ・脳トレーニングリッシュ etc.

利用者さんの声

☆西川栄治さんはナルクに入会して1年になります。1922年生まれで今年98歳になり現在高齢者向けマンションで一人暮らしですが、高齢のため目と耳はかなり不自由です。

室内で車椅子の生活をされ、ヘルパーさんから毎日2回のサービスを受け、週に一回デイサービスに行かれています。ナルクでは毎週日曜日に買物・話し相手をしています。ヘルパーさんには毎日来てもらっていますが、話し相手は出来ないのだからナルクメンバーとの会話をとても楽しみにしておられます。ボランティアではなかなかできない事なので、ナルクの皆さんにはとても有難いと思い、支援については何も言う事はありませんと仰っていました。



現役時代1961年39歳の頃初めて渡米されました。その頃はまだ一部に日本に対する偏見もあったため良い経験もしましたがいやな思いもされ約25年間主にアメリカおよびカナダで木材関係の仕事をしてこられました。海外での話・日本の戦後の話など色々と懐かしそうにされました。記憶のはっきりとしている事に驚かされました。若いころの夢は何でしたかとお尋ねしたら、人のいないところで仕事をしたいと思ったそうです。木材の研究をしたり両国州政府と交渉したりの生活であったので家内にとってはあまりよくなかったのでは。とも…。

(記 小松道生)

☆25周年おめでとうございます

私はナルクに入会させて頂きまして、8年余りになります。足と腰が悪い為家事があまりできなくて、ナルクさんを紹介してもらいました。一軒家に住んでいた時、庭の草引きや外回りの掃除をして頂いて助かりました。今はマンションなので部屋の掃除をして頂いています。いつも丁寧にして下さるので、気持ちまで明るくなって嬉しいです。

以前に、突然玄関の吊棚が落ちた時、ナルクさんに相談したところすぐに来て下さり、危なくない様に移動してくれました。そして後日改めて棚を設置してもらい本当に助かりました。

ナルクさんは、皆さんとても気さくで話しやすく、丁寧にして下さるので感謝しています。

ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

(西駅前町 井上ツツ子)

☆私には高槻支援学校に通っている双子の男の子がいます。

2018年5月より、自宅から通学バスのバス停までの子どもの送りを月1~2回お願いしています。支援をお願いするきっかけは、支援相談担当の相談員さんからの紹介です。外出する際には必ず私が一緒にいないと行けなかったのだから私以外の人との関わりを持って欲しいということをお相談したところ、ナルクさんを紹介されました。バス停までは片道10分ほどです。最初は心配でしたが子どもたちも慣れてきて「明日はナルクの小松さんとバス停だよ」と寝る前に言うようになって、朝起きて「ナルクノコマツサン」と待っているようになりました。また一人が病気の時、1人を送って欲しいと急なお願ひにも対応して下さり感謝しています。子どもの成長の一助となっていると思います。



ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

(見付山 福田みゆき)

☆昨年双子を出産したことにより、それまでできていた長女(3歳)の保育園送迎が困難になってきていましたが茨木市の子育て支援の存在を知り、同年12月より週2回ナルクの方々にお迎えをお願いするようになりました。お迎えをお願いするにあたり、お利口に言うことを聞けるか、しっかり歩いて帰ってこられるかなど若干の不安はありましたがそんなことは全くの杞憂でありました。お歌を歌ったり季節のお花を教えて頂いたり楽しそうに帰ってくる姿を見て、安心できるとともに忙しい子育ての中で本当に助けて頂いていると実感しています。また、長女も登園時には「今日のお迎えはナルクの〇〇さん〜?」とナルクの方々との帰りを楽しみにするようになり、親や保育園の先生以外の大人と触れ合えることが娘の成長にも繋がっていると感じており大変感謝しております。今は新型コロナウイルスの影響で保育園の登園自粛が続いていますが、再開後はまたよろしくお願ひいたします。

(西中条 金井和泉)

☆奉仕活動あれこれ



クリーン作戦 茨木をきれいな街に



摂津福祉祭り



イオン広場・ハンドマッサージ



20周年・代表引き継ぎ



通学見守り みんな気を付けて!



若園バラ園 散策



ハッピーバースデー



ドウライフ・囲碁

☆同好会活動



歌おう会 生バンドで♪♪



お茶を楽しむ会



パッチワーク



アンチエイジングの会



落語を楽しむ



絵手紙



茨木市歌を歌う



おしどりコーラス



ドー楽園 新鮮野菜一杯!



歩楽人クラブ 秋の大門寺



バスツアー

☆入会から16年を振り返って

私は現役を退いたら「他人の為・地域の為に少しでも役立つ事をしよう」と決めていたので、2004年9月引退し直ぐに社協のボランティア講習を受講してナルクに入会しました。

まず支援活動に必要な福祉・介護に関わる知識・技能を、拠点だけでなく本部・外部研修で積極的に受講し多様な支援要請に活かすよう努めてきました。

また、行政や関連機関等の指導協力を得る為に茨木・摂津両市長を初め関連部署や社協・市活センター等を定期的に訪問し、会報配布・活動状況の報告を行うと共に市総合保険福祉計画作成や社協の運営にも協力してきました。当拠点の25年に及び子育てから障がい者・高齢者迄の多世代に亘る支援や地域に密着した奉仕活動が、行政を初め市民や地域に無くてはならないボランティア団体として評価され茨木市からの事業委託や15周年及び20周年記念行事に多大な協力・支援と今回25周年を期に市長からの感謝状に結び付いたと思います。

私が入会して関わった特に思い出深い活動事例は

① 子育て支援

未熟児で生まれ病気がちの生後6カ月の乳児を保育所に預けて働くお母さんの支援。子供が病気になった時、済生会病院の病児保育の協力を交えながら朝早くから夕方遅くまでの見守り支援が度々必要でした。今では見違えるように元気な10歳に成長し「大きくなったらナルクに入ってボランティアを手伝います」と言ってくれ嬉しい限りです。

② 高齢者・障がい者の支援

平成23年全国最初の「ナルク市民後見制度」親族及び近隣住民との交流が殆ど無い独り暮らしで認知症、重度難聴の方の生活保護費取得から住居探し、入退院手続き、近隣住民、家主とのトラブル解決、徘徊時の身元引受等昼夜を分かたぬ14年に及び支援をし、平成30年市に移管。他にハートフル主催の障がい者プール活動支援等。

③ 地域貢献活動

茨木高校・春日丘高校等への授業協力や、少林寺拳法・茨高・済生会病院等との春・秋のクリーン作戦、済生会病院内ボランティアと介護教室。

2005年7月から始めた拠点及び全国最初の「ブロック交流会」開始。白川・鮎川・新堂・橋の内・総持寺地区の身近な会員同士の助け合いと楽しみ会を年3～4回実施。これが7年前に開設した「いきいき交流広場白川サロン」となって地区老人会との協働に繋がり、地域密着型活動のモデルとして大阪府や多くの市町村・大学・団体等の見学が未だに多い。

この他「15周年・20周年記念事業」を拠点一丸となって準備し、茨木・摂津両市長初め多くの関係者のご臨席の下、盛大に催せたのが強く印象に残ります。20周年には福祉の第一人者堀田力氏と地元出身でプロ野球名球会会員の立浪和義氏の記念講演が特筆。順調に成長して来た当拠点ですが「活動会員の増強」が喫緊の課題です。ますます進む高齢化に加え、このたびの「新型コロナウイルス禍」後、地域住民の支援要請が一層増える事は明らかです。この課題に真摯に取り組み、次なる30周年に向けて「25周年記念活動会員特別勧誘・増強キャンペーン」を是非皆さん一丸となって成功させましょう！

(白川 池原洋志)

☆ナルクと共に25年

ナルク入会の始まりは、茨木市福祉会館の一部屋からでした。

1995年阪神淡路大震災から半年後の7月、故高畑会長の熱い思いに賛同した男性5名、女性4名が集まりました。机一つ運営費ゼロすべて無い無いづくしの中での発足でしたが、このナルクという新しい型のボランティアを何とか成功させたくて全員やる気満々でした。実際は日々分からない事ばかり、戸惑うことばかりで落ち込むことも多々ありました。運営費を捻出するために、知人・友人・家族を動員して講習会を開き、手作りの冊子を300円で売り運営費に当てたりしました。

事務所当番表や活動点数記入などすべて手書き、そろばん片手で事務処理をしていました。

でもそんな苦労よりも仲間とわいわい言いながらの作業が、不思議に楽しかったとの思いのみが25年経った今も残っています。

今ではナルクも海外拠点もあり、世界に輪が広がって大きな存在になりました。これも会長はじめ会員の皆さんの努力の賜物だと思います。

ナルクの理念の一つ「相互扶助」が今一番求められていますが、現実には会員の高齢化によって難しくなっています。人の役に立てる喜び、それこそがナルクの原点です。いまこそ、その原点に帰って活動できるよう工夫し益々の発展を心より願っています。

(鮎川 岡崎聖子)





☆議事・連絡事項など

- ① 定時総会がコロナウィルスのため中止となり議案は葉書にて承認の可否をお願いしました。結果、権利対象者412名の1/3(137名)に対し、全ての議案について193名の承認がありました。議案に対する否認およびご意見はありませんでした。(事務所に資料がありますのでご覧下さい)
- ② 提供・奉仕活動の報告は月遅れでも提出してください。(拠点の活動実績に影響します)
- ③ 事務所当番の方は換気をし、退室時には消毒液での清拭を行ってください。
- ④ 支援の際、ゴム手袋が必要な人は事務所にありますので使用してください。
- ⑤ 事務所当番は7月から午前・午後とも通常通りとなりますのでご協力をお願いします。

☆5月度の活動実績点数

活動区分	当月点数	累計点数	累計達成率	内容
時間預託	209	376	51.3%	提供活動・事務所当番・所定事務など
奉仕活動	233	488	35.7%	福祉・環境・拠点活動など
活動全体	442	864	41.1%	—
無点活動	1	4	—	交流会、同好会活動など
当月累計	443	868	38.0%	—

・受託事業 : ◎ご一緒:2件4時間、◎日常4件8回、◎サービスB:3件21回

・預託点利用 : 2件3点 (累計9点)

☆6月度の会員異動(太字は活動会員です)

・入会者 : 田所加代子(下穂積)、宮尾幸子(見付山)

・退会者 : 西ノ内徳子(東福井)、奥田雅文(中穂積)、古軸陽子・優(西河原)(M会員)

5月末会員=410人(男性153、女性257)〈参考:2020年3月末会員=411人〉 別途M会員22名

【7月行事予定】

【8月行事予定】

日時	行事	会場	日時	行事	会場
3日(金) 15:00	イオン広場	中止	7日(金) 10:30	三役会	事務所
8日(水) 13:30	脳トレイングリッシュ	中止	7日(金) 15:00	イオン広場	イオン
8・25日 10:00	パッチワーク	事務所	*お盆休みは11日から14日です。 		
10日(金) 10:30	三役会	事務所			
13日(月) 13:10	運営委員会	研修室			
14日(火) 13:00	絵手紙の集い	事務所			
16日(木) 13:30	コーディネート研修	研修室			
21日(火) 10:00	おしどりコーラス	中止			

パソコン・デジカメ・タブレットなど「ITで遊ぼう!」へ来て下さいね。

7月予定は次の通りです。 10日(金)PM小松、22日(水)PM小松

尚、ご自宅訪問もOKです。ご希望を担当に相談してください。(1時間1点です)

当拠点の賛助会員(敬称略・五十音順)

いつもご支援ご協力ありがとうございます。

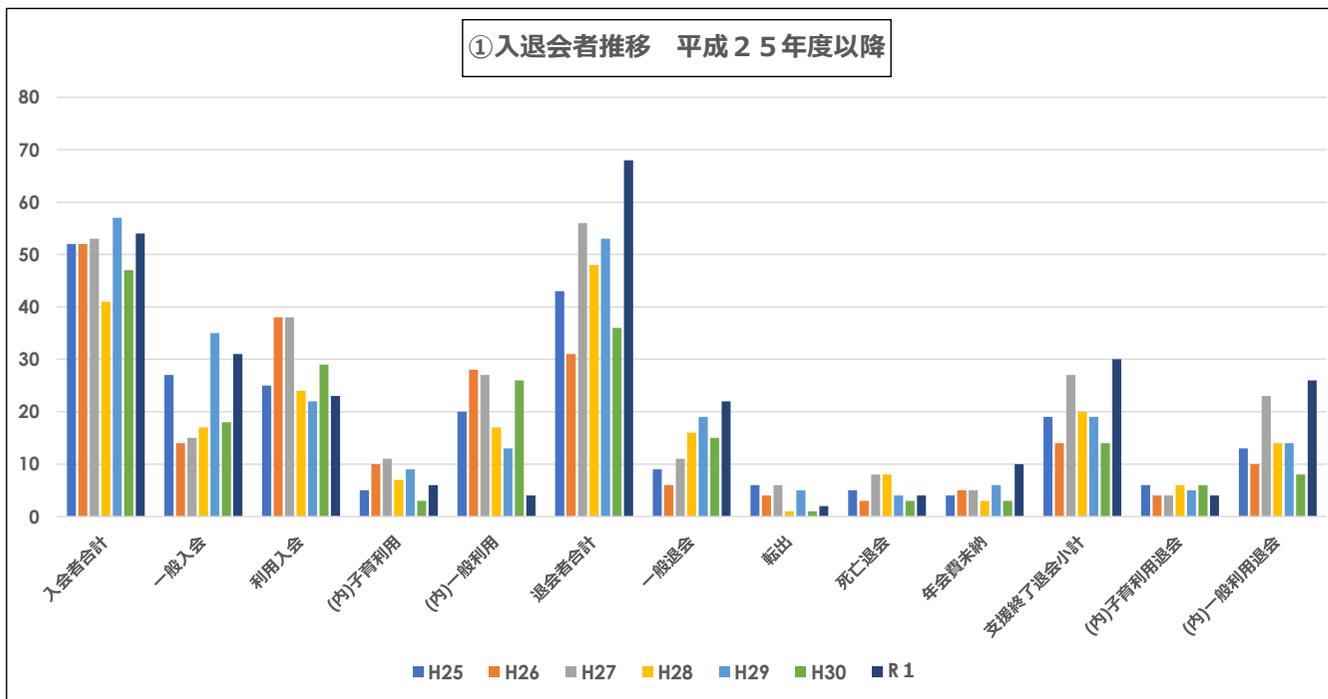
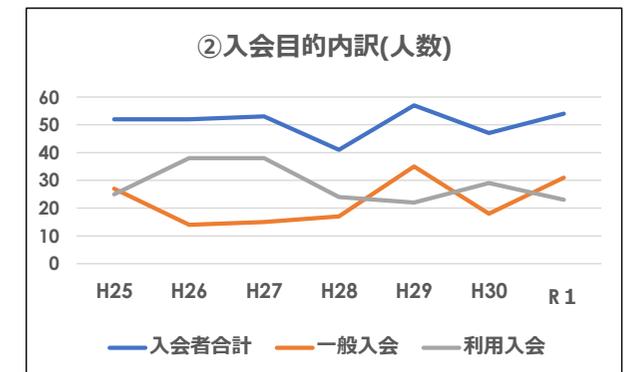
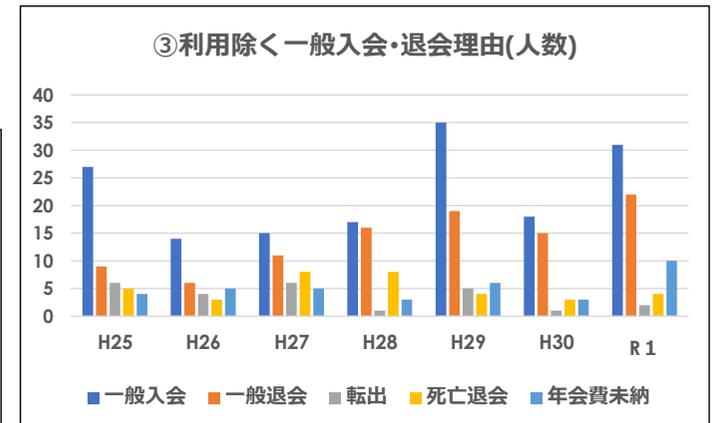
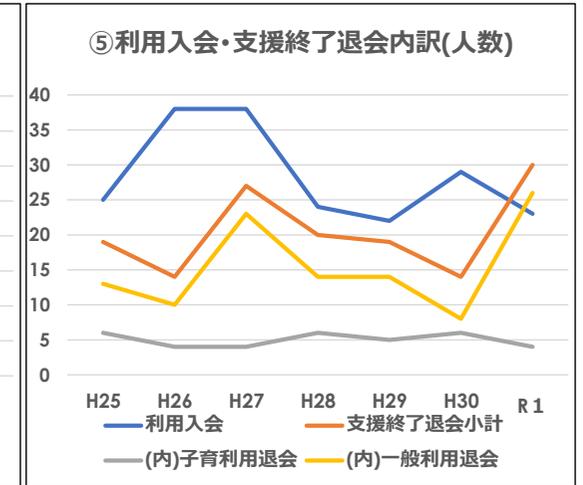
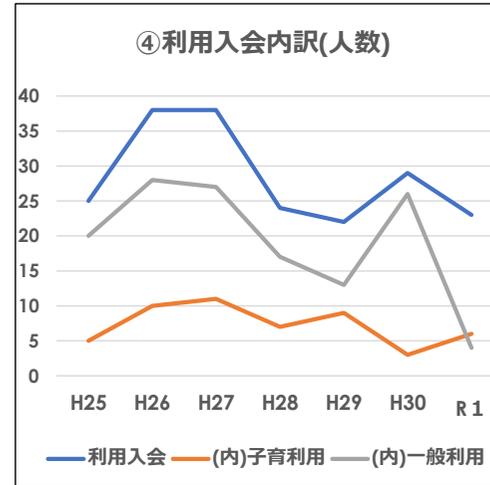
- <法人>
- ・あいおいニッセイ同和損保株
 - ・アシスタント(株)樋口忠明
 - ・いえだ歯科医院(家田靖丈)・(社)遠隔援護協会
 - ・きじ園(田北英紀)
 - ・済生会茨木病院
 - ・じんないケアセンター喜楽(浅野健一)
 - ・デイサービスセンター「ドゥライフ茨木」
- <個人>
- ・安孫子浩子
 - ・今井政治(いまい内科ハートクリニック)
 - ・元古隆一(北摂建材)
 - ・辰見登
 - ・玉成佳子(焼き立てパン凜)
 - ・友次恵子
 - ・長谷川麻水
 - ・原田平
 - ・宮原正年(郷土料理九州)
 - ・若林三雄(魚庵すし若)

8月号は8月5日(水) 9時30分から配布します。配布担当は事務所へ取りに来てください。

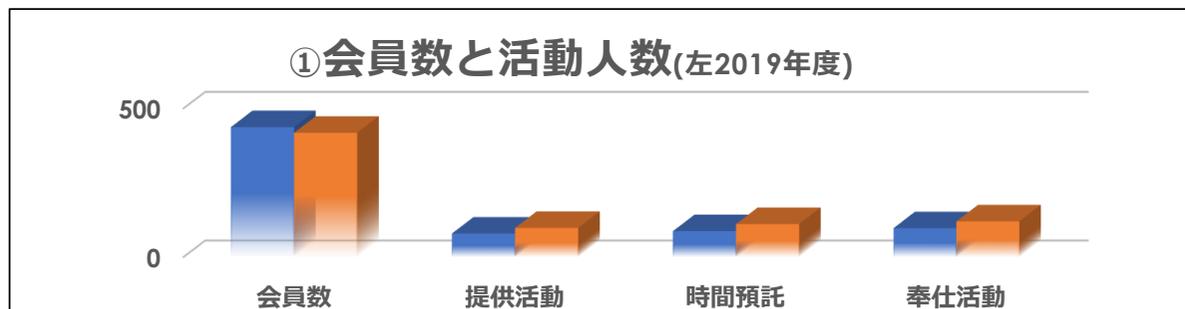
おしどりの会 平成25年度～令和元年度 会員状況(1/2)

25周年会員賛助会員増強チーム

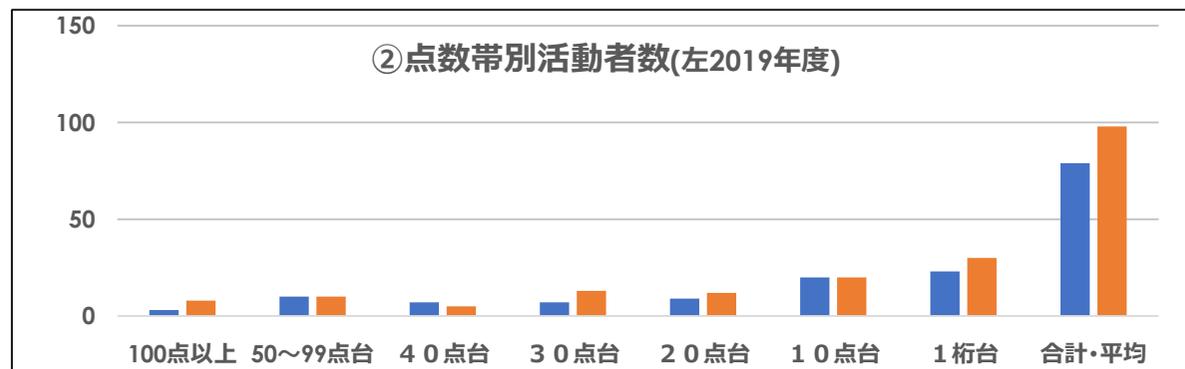
和暦年度	西暦年度	会員	男性	女性	その他 J・M会員	賛助会員 法人個人	入会者合計					退会者合計							
							一般入会	利用入会	(内)子育利用	(内)一般利用	一般退会	転出	死亡退会	年会費未納	支援終了退会小計	(内)子育利用退会	(内)一般利用退会		
H25	2013	399	148	251	14	6	52	27	25	5	20	43	9	6	5	4	19	6	13
H26	2014	418	149	269	16	6	52	14	38	10	28	31	6	4	3	5	14	4	10
H27	2015	431	155	276	18	8	53	15	38	11	27	56	11	6	8	5	27	4	23
H28	2016	424	148	276	25	9	41	17	24	7	17	48	16	1	8	3	20	6	14
H29	2017	428	155	273	24	9	57	35	22	9	13	53	19	5	4	6	19	5	14
H30	2018	439	157	282	24	11	47	18	29	3	26	36	15	1	3	3	14	6	8
R1	2019	437	167	270	32	18	54	31	23	6	4	68	22	2	4	10	30	4	26
5年間小計							304	130	174	46	115	292	89	19	30	32	124	29	95



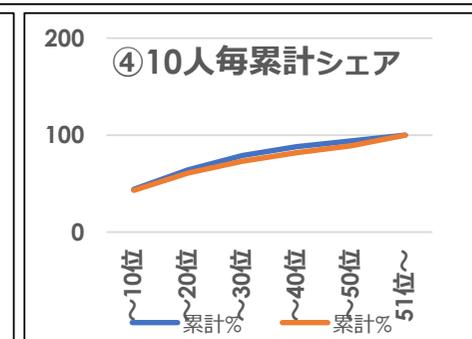
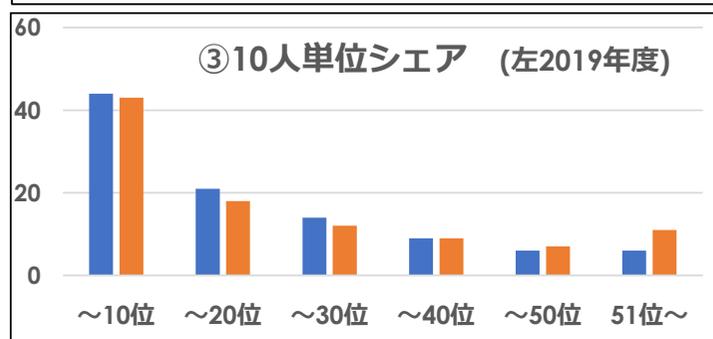
				H26年		<参考 H26・2014年度>	
2019年度	人	時間	人数比	人	時間	人	時間
会員数	437	13,644	105%	418	17,523	418	17,523
提供活動	79	2,266	81%	98	3,276	98	3,276
時間預託	87	4,415	78%	111	5,279	111	5,279
奉仕活動	97	9,201	81%	120	12,244	120	12,244



提供活動点分布/2019年度				<参考 H26・2014年度>		
活動点数	活動点	活動者	点/1人	活動点	活動者	点/1人
100点以上	468	3	156	1,262	8	158
50~99点台	689	10	69	671	10	67
40点台	303	7	43	212	5	42
30点台	239	7	34	447	13	34
20点台	212	9	24	287	12	24
10点台	271	20	14	263	20	13
1桁台	84	23	4	134	30	4
合計・平均	2,266	79	29	3,276	98	33



提供活動点分布/2019年度				<参考 H26・2014年度>		
10人毎	活動点	個別%	累計%	活動点	個別%	累計%
~10位	990	44	44	1,443	43	43
~20位	470	21	64	580	18	61
~30位	323	14	79	383	12	73
~40位	200	9	88	292	9	82
~50位	136	6	94	216	7	89
51位~	147	6	100	362	11	100



P-11

<課題>

1. 新会員入会時の目的を大別すると、活動目的(43%)・利用目的(57%)。このままでは支援者不足となるため逆転させることが必要。
2. 退会者292人。転出と死亡は防げないが、その他の退会者243人(83%)はあまりにも多い。⇒原因を明確にし対策を立て、この退会者を半減させる。
(例 ①死亡 ②転出 ③入院・入所 ④家族介護・就労 ⑤病気・怪我⇒活動不能 ⑥支援(利用a.b)終了 ⑦活動量・内容・断わり難い ⑧人間関係 ⑨ナルク理念・運営・その他)
3. 会員数は5年前と比べると5%増加したが、活動した会員数は約20%減少している。活動を目的に入会し、且つ活動された会員は約2割にとどまっている。
⇒これらの状況を十分に理解し全会員がより積極的に支援活動に参加すれば当拠点の未来は明るい。

25周年記念「活動会員勧誘時Q & A」

1. **目的** 会員及び地域住民の高齢化の進展に伴い、今後ますます増える支援要請に応えるために、設立25周年を機に「勧誘・増強キャンペーン」を実施し活動会員の獲得を目指す。
2. **期間** 2020年4月1日～2021年3月31日
3. **活動会員とは** ①提供活動 ②奉仕活動を行う者。
4. **活動目標** 新規会員を勧誘すると共に、現在の休眠会員を活動へ誘い、退会希望者を引き留め活動会員の維持増強を図る。
5. **勧誘目標** 【一人が一人を】の強い意識であらゆる機会を捉えて勧誘し全体で30名以上の獲得を目指す。勧誘のチャンスを逃さぬようにリーフレットや各種チラシ・申込書を持参する。
6. **インセンティブ** キャンペーンのモチベーションアップのために勧誘した人に謝意を表す。
7. **勧誘の進め方** どんな人に どんな時に どんなふうに
 - ① まずは、身近な友人・知人から勧誘の声をかけよう！ 他でボランティアをしている人、ボランティアに興味がありそうだがきっかけが無い人をリストアップし、ボランティアの必要性、喜び、楽しさ、生き甲斐等を誠心誠意根気強く伝える。
(趣味の仲間、サークル仲間、スポーツクラブの仲間、近所の知り合い等)。
 - ② 催し、行事、交流会等に参加した時に、ボランティアに興味がありそうな人に声をかけよう(クリーン作戦、バザー、ボランティア交流会、各種サロン、地域防災訓練、会社のOB会等)
 - ③ ボランティアに興味はありませんか？ ボランティア仲間に入りませんか？
 - ・ボランティアは特別な事ではありません。この地域でも高齢化が進み国や市の財政から市民同士の助け合いが益々必要となっています。
 - ・あなたの得意な事出来る事を、地域で困っている人の手助けとして一緒にしませんか？
 - ・一生懸命やれば相手に喜んでもらえる、それが自分の喜びとなり人生の充実につながる。
 - ・リーフレットやチラシでナルクの説明をし、研修会や交流会・同好会等の楽しみの場と新しい仲間づくりができ、これからの人生が更に楽しくなります。相手の特性・趣味・家庭事情がわかっていれば、それに合わせて説明・勧誘の内容を変える。

8. **勧誘Q & A** (よくある質問と回答例)

Q ナルクって何？ 特徴は？

A 会員同士の助け合いの全国組織のボランティア団体です。介護保険でカバーできない分野の高齢者・障がい者・子育て等の支援を行っている。また住み慣れた街の清掃や学童の登下校の安全見守り・独居老人の見守り等の地域社会への奉仕活動も行っている。ナルクの一番の特徴は時間預託制度です。全国組織なので遠距離介護支援も可能。リーフレットで理念・システム・活動の内容・拠点の状況を説明する。

Q ボランティアに関わる知識も経験も、何ら資格も無い

A 難しい事・知識・経験の必要なものもあるが、だれでもできる簡単な事もたくさんある。はじめはベテランと一緒に自分にできる事から始め、拠点で定期的に行っている勉強・研修(実技を含む)に参加して徐々に知識・技能を習得してレベルアップ出来る。研修会は実生活にも役立つ情報がいっぱいある。

Q ボランティアはしたことが無い、難しそう

A ボランティアは決して特別なことではなく普通のことで、困ったときはお互い様という助け合いの気持ちがあれば誰にでも出来る。

Q 時間預託制度とは一体どんな制度？

A 会員同士が助け合いボランティアをした時間を1時間1点として貯めておき、自分や親・配偶者が困った時に貯めておいた点数を使って、他の会員に支援をしてもらうナルク独自の制度です。留守をする時の花の水やりや犬の散歩等、また遠方の親の見守りを拠点やその地域のナルクに頼むことも出来る。

Q ボランティア活動の具体的な内容は？

A ① 特定の人を支援する時間預託活動

高齢者・障がい者・子育て支援(通院介助や話し相手・食事作り・掃除・洗濯・買い物・ゴミ出し等々)

② 不特定の人や団体・病院・施設・地域を支援する奉仕活動

街の清掃活動・サロン・イオン広場・バザー・病院・介護施設・社協・シニアプラザ

③ 自立のための研修・趣味・交流活動

ボランティアの心構えを初め支援活動に必要な各種研修・勉強会・同好会(パッチワーク・絵手紙・お茶の会・コーラス・カラオケ・英会話・アンチエイジング・ハイキング・ドー楽園)
・居酒屋の会・新年会・忘年会・誕生会等々盛り沢山

Q 支援に一人で行くのは怖い

A 最初から一人で行くことはなく、一人の利用者をグループで支援する。支援の内容や頻度等によって複数の支援者が世話役のコーディネーターを中心にチームを組んで支援し、自信が付くまでベテランが同行するので安心できる。

Q 利用者の家庭に行くのは苦手

A 住み慣れたこの茨木・摂津の街を綺麗にする清掃活動やバザー、地域の人達に健康や喜びを提供する奉仕活動も沢山ある。先ず会員同士が集う同好会や交流会へ参加してください。

Q ボランティア活動をするのにどうして年会費3,000円も払うの？

A 本部及び事務所の運営、維持費に必要です。会費を出し合う互助会のように考えて下さい。ひと月250円と考え、ちょっと節約してみてください。

(参考 茨木市民活動団体の平均年会費は3,400円でもっと高額の団体もある)

Q ナルクに入って良かった・嬉しい・楽しいと思えたことはどんなこと？

A ・支援した後に「有難う！」という感謝の言葉を頂いた時。

・人の為・地域の為に少しでも役立っていると自覚が出来、明日からの生き甲斐になると感じたこと、共感しあえる友人知人がたくさん出来たこと。

・会員は多士済々。異なる分野の学びや趣味スポーツ等で自分を高められたこと。

・数々の研修会やサークルなどで様々な学びや体験が出来たこと。

・自分の成長に繋がり、役割が出来たこと。

・キョウイク(今日行く所がある)キョウヨウ(今日用事がある)居場所・出番の存在。

・アンチエイジングを実践出来ること。

Q 勧誘に際しての注意点は？

A 無理強いをしないこと、相手の考え方・特性・趣味・家庭環境を尊重すること。

「出来そうなことを」「出来る時に」「出来る方法で」先ずは一緒に動く！

会報でたどる茨木・摂津拠点の歴史(1)

西暦	月	ナルク茨木・摂津拠点の主な出来事
1995	7	・7.16設立総会 茨木市福祉文化会館 参加者約100名
	7	・代表:山田稔 会員数:18世帯29人、事務所:茨木市西駅前6-23(株)利宝、魚庵すし若 事務所内
	8	・会報創刊号発刊
	10	・阪神大震災ボランティア活動に5人参加
1996	3	・支部主催研修シリーズ「ボランティアに必要な知識」市民参加もあり
	6	・支援開始活動始まる！！
	6	・第1回定時総会開催
	8	・当番常駐制度開始 ・PC導入 日本財団(日本船舶振興会)より援助
	9	・研修会「痴呆の父をかかえた夫婦の介護記録」北摂4支部合同主催
1997	7	・大阪府知事よりホームヘルパー養成研修事業(3級課程)の指定を受ける
	9	・みんな集まれボランティア参加
	11	・フリーマーケット初参加(出店)天候、品物、店員の応対等に恵まれ 約3時間で完売
1998	1	・神戸震災3周年復興フェニックスマーケットに参加
	3	・事務所移転:茨木市春日1丁目2-1(株)利宝、魚庵すし若 若林三雄様方
	6	・組織の名称を「【NALC】NIPPON ACTIVE LIFE CLUB」に変更し「日本時間預託ボランティア協会」WAC(長寿社会文化協会)と組織を分ける
1999	4	・介護保険制度スタート 260万人が利用
	6	・ボランティアシール活動スタート
2000	4	・ナルク設立5周年全国大会 参加者市民を含め2000人。当拠点より13人参加
	8	・水泳指導ボランティアに参加
	10	・茨木高校授業支援始まる
	10	・生活研究アドバイザー登録者42人
	11	・クリーン大作戦 135人(少林寺拳法73人 茨木高校同好会32人 ナルク30人参加)
2001	4	・ボランティアシール制度を改め NALC奉仕活動制度がスタート
	5	・NHKの「クローズアップ現代」でナルクの活動が取り上げられる
	12	・「老人介護教室」済生会茨木病院と共催でスタート
2002	7	・シニア情報誌 本部発行「アクティブらいふ」7月号からお目見え
2003	2	・介護保険事業 ケアマネージャー研修生受け入れ
	3	・ケアマネージャー(介護支援専門員)受験資格となる【実務経験証明】の発行が認められる
	4	・会報タイトル【ナルクおしどりの会】に変更 (旧おしどりの会)
	4	・ナルク エンディングノート 本部作成
	5	・事務所移転:茨木市春日1-12-16
2004	4	・記念ウォーク 580KM 会員4人とその家族が参加
	5	・ナルク本部10周年記念 記念交流パーティ
	9	・新入会員交流会 テーマ”入会の動機・ここが聞きたい！！”
	9	・府社協 高校生・大学生を対象の夏のボランティア支援
	12	・済生会茨木病院と病院ボランティアの共同活動スタート 登録18人
2005	7	・ナルク茨木・摂津 10周年記念総会
	7	・ナルク茨木・摂津拠点 拠点エンブレム(ワッペン)制定
	12	・事務所移転:茨木市東中条町1-6
2006	8	・第1回ドゥライフ夏祭りに初参加
	9	・済生会茨木病院との第一回病院ボランティア交流会開催
2007	4	・茨木市に子育て支援課開設
	4	・茨木市老人介護家族会の賛助会員に登録
	6	・セカンドステージ応援セミナーin茨木開催
	12	・団塊世代への次世代育成セミナー開催((財)子ども未来財団)
2008	1	・シニア介護サポーター養成研修始まる
	8	・茨木市高齢者ごいっしょサービス事業委託契約を結ぶ
	12	・済生会茨木病院とナルクとの介護教室開催
2009	5	・ナルク設立本部15周年記念式典開催
	5	・代表交代(山田稔氏から池原洋志氏へ)
	9	・認知症サポーター養成講座開催
	11	・摂津市福祉計画シンポジウム開催

会報でたどる茨木・摂津拠点の歴史(2)

西暦	月	ナルク茨木・摂津拠点の主な出来事
2010	5	・15周年記念式典
	6	・上級救急救命講習会 茨木消防本部
	6	・高校授業協力 茨木・春日丘・三島・福井
	10	・在宅での認知症ケア講習会
2011	3	・東日本大震災
	5	・HP開設
	6	・全国に先駆けて(ナルク市民後見)第1号開始
	6	・「ナルク」NHKTVテレビ放映(15日・22日)
2012	5	・第20回クリーン作戦式典 茨木市長および少林寺拳法グループから感謝状を受領
	6	・お誕生会スタート
	11	・子育て支援シンポジウム開催(ローズWAM)
2013	1	・授業協力、車椅子実習(福井高校、春日丘高校)
	5	・代表交代(池原氏から東條氏へ)
	6	・歌おう会スタート
	6	・個人情報保護法を学ぶ
	9	・茨木市ひとり暮らし高齢者日常支援委託契約を結ぶ
10	・北摂ブロック身障者スポーツ大会の参加者支援	
2014	1	・本部主催大規模研修会(ゲスト阿川佐和子さん)
	1	・茨木アクティブシニアフェスタ参画開始
	4	・絵手紙同好会スタート
	4	・ブロック制スタート
	4	・白川サロン開設
	5	・本部20周年記念行事(仙台・福島で開催)に参加
	9	・日帰りバスツアー(生野銀山～姫路城)
11	・市民活動フェスタに参加	
2015	3	・「アンチエイジングの会」スタート
	5	・20周年記念総会・式典・懇親会開催(茨木市役所南館茨木スカイレストラン)
	5	・代表交代(東條氏から石田氏へ)
	6	・記念イベント開催(立命館いばらきフューチャープラザ大ホール)
	9	・亀岡拠点「シニア生活介護支援サポーター講習会」講座支援
	11	・フリーマーケット東日本復興支援
11	・「支援日記」連載スタート	
2016	4	・桜通りで「お花見バーベキュー」実施
	8	・茨木市総合事業研修会参加
	9	・日帰りバスツアー(伊賀上野～信楽)
	10	・自転車運転者研修会
2017	2	・茨木アクティブシニアフェスタ「ナルクであなたの家族は安心」寸劇披露
	4	・「認知症勉強会」スタート
	8	・イオンいきいき広場「シニア5団体相談会」に参加
	12	・「茨木市訪問型サービスB事業」契約
2018	2	・「茨木市訪問型サービスB事業」事業スタート
	4	・「会員あれこれ」連載スタート
	6	・大阪北部地震
	7	・「ドー楽園」スタート
	11	・遠隔援護サポーター支援スタート
12	・「イングリッシュ・ファンクラブ」スタート	
2019	1	「おしどりコーナー」スタート
	5	・年号 平成から令和へ
	6	・代表交代(石田氏から竹村文氏へ)
	8	・会員からイベント時着用のベスト提供される
	9	・「さわやか福祉財団「いきがい・助け合いサミットin大阪」に参加
	12	・大阪府共同募金会「河原林富美福祉基金」より福祉ハンドマッサージ活動及び講習会に助成金認可される
2020	1	・茨木・摂津拠点設立25周年記念行事実行委員会立ち上げ
	3	・新型コロナウイルス感染症世界に蔓延
	6	・茨木市長よりクリーン作戦功労に対する感謝状の受領



Nippon **A**ctive **L**ife **C**lub